

第562回遊佐町議会定例会一般質問通告書

令和4年12月定例会

通告順	通 告 者	質 問 事 項	要 旨
1	<p>7番 菅原 和幸 (一問一答)</p>	<p>1. 空き校舎活用や今後想定される各事業計画を明確にする時期は</p>	<p>この地に生まれ、学び育った時代を回想しながら、小学校の閉校式に参加させていただいた。</p> <p>閉校にあたり、地域自治組織では将来を見据えた「地域づくり計画」を取りまとめ、要望書として町に提出された地域もある。特に、これまでの経過から「まちづくりセンターの移転」を予定する地域では、閉校後に対応が加速されると考える。</p> <p>閉校後については「遊佐町小学校空き校舎利活用検討委員会」で検討されていると理解する。</p> <p>当町では、巨額の投資を伴う遊佐PAT事業を進める一方で、老朽化している福祉施設や、文化財関連施設などへの対応も、今後の課題になるものと認識する。</p> <p>これらの事業は、一朝一夕に行うことは不可能であり、財政面を考慮した優先順位などを決定しなければならない。振興審議会への提案の前提となる各事業計画は、どのような課程を踏まえ、いつまで明確にする予定か。</p>
2	<p>6番 松永 裕美 (一問一答)</p>	<p>1. 農業に従事する若者・女性を海外や国内に派遣する研修制度の創設</p>	<p>アフターコロナを見据えて、町の大切な基幹産業である農業に従事している若者や女性を対象に、海外もしくは国内の先進地に派遣する事はとても有意義な施策と考える。今までの既存のやり方や経営の仕方に更なる創意工夫をプラスする為にも町外へ出て研修をし、様々な事を吸収してくる事は将来、必ず実を結ぶと推察できる。</p> <p>費用は3分の1を町、3分の1を地元農協、残りを参加者負担にするというやり方で町に大きな負担をかけないのではと考える。ご所見を伺う。</p>

通告順	通 告 者	質 問 事 項	要 旨
3	<p style="text-align: center;">1 1 番 齋藤 弥志夫 (一問一答)</p>	<p>1. 受動喫煙防止のための明確な指針の策定</p> <p>2. 遊佐高県外生の住居改善</p>	<p>改正健康増進法の制定で、望まない受動喫煙を減らすことで利用者が多数いる施設や乗り物、飲食店などの屋内で原則禁煙となった。一定条件を満たすことで屋内に喫煙専用室を設置することができるが、出入口の風速を毎秒 0.2m 以上確保することになっている。遊楽里の喫煙専用室はこの条件に合致しないようだ。</p> <p>SDGs とは、国連加盟 193 か国が定めた目標で、タバコの規制に関する条約の実施を世界規模で取り組まなければならない課題としている。子どもの生命及び健康を受動喫煙の悪影響から保護するための条例を、東京都や山形市で制定している。遊佐町も明確な指針を策定してもよいのではないかと。</p> <p>県外からの遊佐高生の住居のうち、八日町の方は全体的に古く劣化が進んでカビだらけのトイレがあったり、県外から来た高校生が住むにはふさわしくないようだ。もっとまともな空き家が町内にいないのですか。利用率が低い町の施設を住居用に転用することも可能ではないのか。しらい自然館は客室数 12 部屋で平均利用率は R1 年度で 29.3%、R3 年度で 8.3% でかなり低い。社会福祉協議会の老朽化は進んでいて、もし移転の計画でもあれば、現在の社会福祉協議会の内部に間仕切りを多数設けて、小部屋を多く造って遊佐高生用の宿舎に改造することもできる。</p>
4	<p style="text-align: center;">2 番 那須 正幸 (一問一答)</p>	<p>1. 観光地での避難訓練と町の避難所開設訓練は万全か</p>	<p>当町は、山があり海があり、通年を通して楽しめる観光地である。春から秋にかけては鳥海登山。夏は海水浴とキャンプ場と年間かなりの人々がお訪れている。観光は天気にも恵まれれば何よりではあるが、近年、世界的にも自然災害が多く発生し、予想のつかない突然の天候の変動などで河川の氾濫による洪水や、地震による津波、火山の噴火など今までに経験のない災害が多くなっている。</p> <p>確認するまでもないが、鳥海山は火山である。過去には大噴火があり、近くでは 1974 年約 150 年ぶりの噴火があった。数か月間、新山の火口からマグマ水蒸気爆発が続いた。また、キャンプ場などは月光川の河口に位置し、海と川に挟まれたところにある。防災ガイドマップによると吹浦の津波最高水位は 12.5m で、津波の到達時間は 9 分となっている。またシーズン中は、かなりの人出の為、災害に対する心構えが必要である。改めて山と海、観光地での災害に対する避難訓練と、今回消防団の参加もあった、町の避難所開設訓練の取り組みを伺う。</p>

通告順	通 告 者	質 問 事 項	要 旨
5	8 番 赤塚 英一 (一問一答)	1. 産業振興の現状と今後	日沿道の県境区間の開通も間近となり、パーキングエリアの建設も進んでいる。この区間が開通することで、人の流れや物流にも大きな変化が期待される。 そこで、これまでの取り組み状況と今後の課題を問う。
6	4 番 佐藤 光保 (一問一答)	1. 遊佐町における漁業の現状と今後について	今年が国連が定めた「国際小規模漁業年」です。 本町の漁業も小規模漁業ですが、この方々が元気に経営できるようになることこそが、持続的な社会をつくる力です。 (1) 2018 年漁業センサスによる現状について伺います。 (2) 本町の特色である内水面漁業のさけ人工ふ化放流事業の現状について伺います。
7	10 番 高橋 冠治 (一問一答)	1. スマホ道場の目的の先にある町の情報発信は 2. 小学校統合後、使用目的がまちづくりセンターとして確定している、校舎の改修について	各まちづくりセンターを巡回し、初心者や高齢者に向けたスマホの操作方法等、1対1の対面で行なっている、参加者からは好評である。 これからの情報化社会に取り残されないためにも、この事業が継続的に必要と思うし、また今後、無料通信アプリを使用したタイムリーな情報発信は町にしても、必要不可欠のツールになると考えるが如何か。 蕨岡・高瀬の両まちづくりセンターが各小学校跡の移動に伴い改修工事等が予定されている。 工事設計・改修工事と2年かけての工事になるとの事だが、現センターは耐震性もなく、かなり老朽化しており、早期の移設が望まれているが、改修期間の短縮は出来ないのか。
8	3 番 佐藤 俊太郎 (一問一答)	1. 自動体外式除細動器(AED)の設置運用等に関して	<ul style="list-style-type: none"> ・過去の使用事例についてお伺いします。 ・関係者(教職員等)が連携して迅速適切に救命活動を行うための訓練等の実施状況は。 ・児童生徒が救命活動を学んでいるか。 ・適切な場所に設置されているかについてお伺いします。

通告順	通 告 者	質 問 事 項	要 旨
9	<p>1 番 本間 知広 (一問一答)</p>	<p>1. 「ストックマネジメント事業」の進捗状況は</p>	<p>令和 2 年度第 539 回 9 月定例会において下水の将来的なビジョンについて質問した。その時に「老朽化した施設の延命化を図るために、ストックマネジメント事業を策定する。」との答弁を頂いた。公共下水については「ストックマネジメント計画」を令和 4 年度まで、農業集落排水については「最適整備構想」を 3 年度までに策定、7 月 14 日の全員協議会で説明を受けたところである。内容は、直世地区、豊岡地区の集落排水を公共下水につなぐ、ということであった。整備にかかる時期的、予算的な内容はまだ出ていない。公共下水の「ストックマネジメント計画」については説明がまだされていない状況だ。</p> <p>これも、前回水道で質問したが、個別施設計画のひとつであると認識している。施設の老朽化にどう対応していくのかが大きな課題であり、それらに対応するため新たに基金も創設した。課題克服に向けての動きはあるとの認識だが、現在の事業の進捗はどうなっているのか伺う。</p>
1 0	<p>5 番 齋藤 武 (一問一答)</p>	<p>1. 小学校がなくなる地区の活力、どう保つのか</p>	<p>来春の小学校統合により学校がなくなる地区の活力低下のおそれは、十二分に予見できることである。それを防ぐためあらかじめ、または事後にも相応の施策を講じる必要がある。</p> <p>現にどのような施策が講じられており、あるいは今後講じようとしているのか。</p> <p>これからは遊佐地区のみに学校が置かれることになり、均衡ある町の発展のためには相当の配慮が必要だと考えるが。</p>
1 1	<p>9 番 阿部 満吉 (一問一答)</p>	<p>1. 空き校舎となる校舎はどう活用</p>	<p>地域の中心であった小学校校舎はいかに利用してゆくか。各まちづくり協議会からは、住民アンケートを踏まえた提案があったところ、地域の思いはどう反映させるのか。</p> <p>高知県室戸市では、廃校となった小学校を水族館とし、50万人の来館者を得たという。</p> <p>遊佐ではどうか。空き校舎となった校舎を利用し、野菜工場という提案もある。他では取り組まないことに挑戦する遊佐農業者にうってつけの取り組みかとも思える。</p> <p>行政が利益を得ることはできないので、それなりの工夫が必要となってくるが。町の考えは。</p>